

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

整備提案名	中川駅前中央遊歩道のルネッサンスプロジェクト
提案グループ名	ぐるっと緑道・遊歩道研究会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年3月、5年がかりで取り組んできた危険な道路の改善を実現。民間企業と都筑土木事務所の協力の下、歩道設置の完成 ・2009年よりコミュニティカフェの事例調査や実現性の検討を経て、2011年10月、フィットネスハウス「パレット中川」内に「ほっとカフェ中川」をオープンし、自主運営 ・2011年1月から、地域活性化を目的とした地域住民が参加するイベント「ふれあいフェスタ中川」を再開
整備場所の所在地	横浜市都筑区中川1丁目
整備提案の内容	<p>周辺の住宅地域の「安心、快適な暮らしを支援する拠点」をめざし、地域資源である東京都市大学、ハウスクエア、くさぶえの道、烏山公園などを結びつけ、誰もが楽しく集い・憩い・交流する広場空間として、中川商店街の中央遊歩道（幅12m長さ500m）を再生（ルネッサンス）します。</p> <p>(1) みんなで育てる魅力ある遊歩道の再整備 中川商店街の中央遊歩道全体で、魅力づくりを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在のハナミズキの見直しとともに、木陰やひなたぼっこを楽しめるように、ベンチを設置した並木道として再整備 ② 皆で維持管理する花壇の設置、味気ないフェンスや壁面の緑化（花やみどりで飾りうるおいを生み出す） ③ 自転車が通らない道路片側の広い段差スペースの有効活用（花壇やベンチの設置、小さな子どもの遊び場づくり、小中学生の絵画コーナー等） <p>(2) 人々が集まり・ふれあう交流広場づくり パレット中川前のまとまった空間で、交流広場化を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人が集まりくつろげる広場として充実（ベンチやテーブルの設置、オープンカフェとして利用できる空間づくり等） ② 井戸あるいは雨水貯留施設の設置（子どもの遊び場・高齢者等の団欒の場、花壇の水やり用、災害時の水確保等） ③ 広がりのある階段下への多目的野外ステージの設置（地域住民・子ども・学生等によるイベントに利用できる空間づくり） <p>(3) つながる遊歩道の魅力アップ大作戦 中央遊歩道から周辺遊歩道への出入口を誰でも分るように</p> <ul style="list-style-type: none"> ① くさぶえの道や烏山公園・東京都市大学等とつながる出入口空間づくり（シンボルツリー、小広場の有効利用等） ② 周辺の魅力資源への行き方を示す案内マップ・宝探しマップ、一帯でのイベントを周知する掲示板や案内サインの設置 <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約500万円</p>

整備提案の動機や背景	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣商業地区としてスタートしたが、センター地区に大規模商業施設ができたことで商店の撤退が相次ぎ、空き店舗が目立つ。 ・対象地域は遊歩道の幅が12mもありながら、画一的な舗石を並べ貧弱なハナミズキが植えられた無機質な通りとなっている。 ・数年前より住民有志・商店街等によりイベント・祭りを個々に行っている。また、昨年度、交流拠点としてコミュニティカフェをオープンしたが、現状を打開するまでには至っていない。 ・そこで、新しい支援拠点として再生するため、住民や商店主等皆で取り組み、一つの力として結集しようと企画・提案した。
整備の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺からアプローチしやすい環境整備や魅力的な遊歩道の整備により、人の流れが導かれ、賑わいが創出される。 ・オープンカフェ等憩いの場が提供され、住民・学生等の交流機会が増加し、NPOオフィスや市民の出店スペース等も増加する。 ・野外ステージや絵画コーナー等の常設に伴い、発表の場として活用され、地域コミュニティや連帯意識の醸成に寄与する。 ・マップ・案内板の整備により、この地域を訪れる人が増加することで、中川商店街を中心とした中川地区の魅力が再発見される。 ・緑化や花壇を整備し住民が緑の世話をすることにより、住民の交流の輪が広がり、また地域のコミュニティ・交流エリアとしての空間的な広がりが形成できる。
整備した施設の維持管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理を行うため、(仮)中川ルネッサンス会(学校関係・商店・町内会・ハマロード等の有志・提案グループ)を設立する。 ・上記グループのメンバーや商店、地権者はもとより、整備参加住民と連携して継続的に中央遊歩道の保全作業や維持管理をする。 ・コミュニティカフェ、商店街及び地域の自治会への広報を通じ、整備や維持管理に参加者を増やす工夫を行う。 ・地域イベント収益の一部を維持管理費に充てることを検討中
○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 ○その他提案について特にPRしたい点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェで、アイデア等を提案、議論する場を提供 ・子どもやお年寄りに集まってもらい、地域再発見マップを作成 ・井戸掘り、花壇づくり等へ幅広い住民、学生等の参加を呼び掛け ・東京都市大学の都市緑化専門家及び学生等の参画 ・中央遊歩道は、今回の提案により、周辺に点在する緑道全てと結ばれ、より一層人を呼び込むことが可能となり、中川地区全体の魅力向上に貢献 ・子どもたちの花・樹木の観察の場や大学生の研究の場になり、相互交流が活発化し、環境への関心とともに維持管理が促進
整備場所の地権者等への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
<ul style="list-style-type: none"> ① 中川駅前商業地区振興会 ② 隣接自治会、町内会 ③ 横浜市道路管理者 ④ 沿道地権者 ⑤ 大学・中学・小学校等学校関係者 	<ul style="list-style-type: none"> ① 大賛成で、提案メンバーと活動する。 ② 提案の趣旨に賛成 ③ 道路管理のルール内の事項には協力 ④ 地権者の一部に説明し、協力の回答 ⑤ 東京都市大学の研究室・学生が参加

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

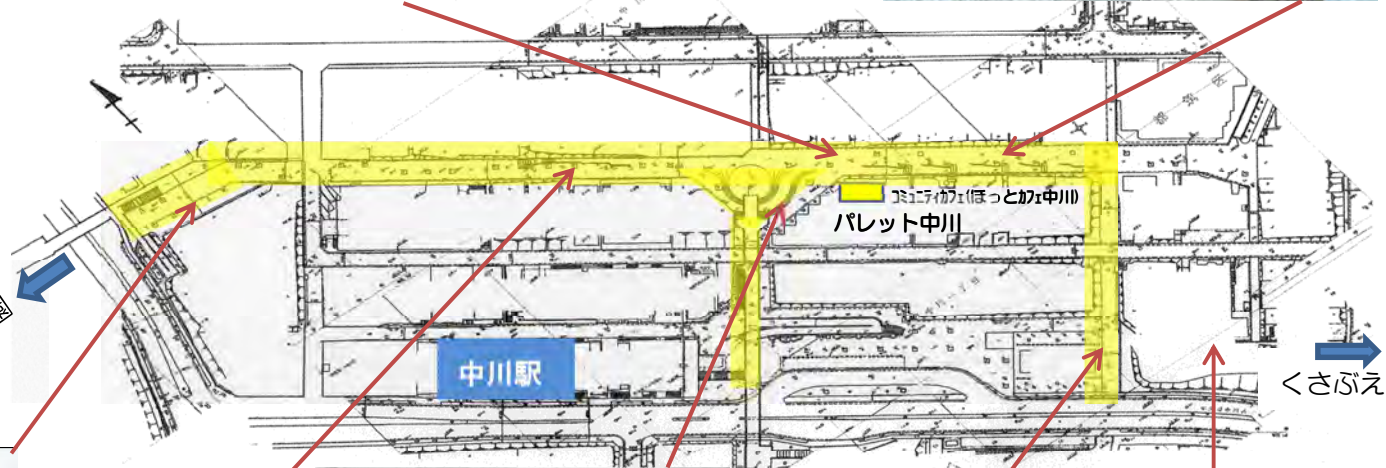
現況の課題



整備場所：横浜市都筑区 中川一丁目



空店舗・空地が目立つ



パレット中川前



殺風景な空地・駐車場



樹木跡



課題の改善イメージ

